

横浜スタジアムの夜間照明計画について（報告主旨）

横浜スタジアムの夜間照明計画について、都市美対策審議会に対しては、平成 29 年の景観審査部会（下記【参考】参照）にて、考え方をお示しし、了承いただいています。今後、令和 8 年の旧市庁舎街区開業に伴いデッキが接続され、多くの来街者が回遊デッキを利用することが見込まれることから、株式会社横浜スタジアムと協議し、平成 29 年の景観審査部会で了承された考え方に則った具体的な照明計画を検討しましたのでご報告します。

【参考】第 36 回景観審査部会（平成 29 年 3 月 27 日）資料抜粋

抽出される景観特性

関内駅側
公園の顔として夜間の賑わいを創出するような照明計画
公園北側
光量を抑えることで横浜公園の歴史ある夜間景観を阻害しない照明計画



夜間照明の考え方

関内駅側
スタジアムを浮かび上がらせる照明計画とし、夜間の賑わい形成に寄与します
公園北側
全体を明るくせず、人のいる場所に落ち着いた照明を行います（防犯性は確保します）

【参考】第 38 回景観審査部会（平成 29 年 7 月 10 日）資料抜粋

関内駅側 …………… 公園の顔として夜間の賑わいを創出するような照明計画とします。

公園北側 …………… 歴史ある夜間景観を阻害しない、照明箇所を限定した計画とします。

プロ野球試合時 …………… 関内駅側・公園北側の照明コンセプトを踏襲しつつ、イベント時の来場者(多人数)の安全性・誘導性を確保するための照明を歩道・各種ゲート・受付に確保します。



- 1：鳥瞰(全体像)**
スタジアムを浮かび上がらせる重心の低い照明とし、夜間の賑わい形成に寄与します。
- 2：関内駅側**
関内側ゲートのタイル壁・柱を重心の低い照明により、浮かび上がらせ、街並みに調和しつつも横浜公園の入口にふさわしい品位のある照明計画とします。
- 3：回遊デッキ**
公園北側は人のいる場所に灯りを限定した落ち着いた照明計画とし、防犯性を確保した上で、日本大通り側の夜間景観を阻害しない計画とします。
- 4：人工台地**
壁・柱を重心の低い照明にて浮かび上がらせると共に、暗がりが出てこない照明レイアウトを検討することで、夜間でも歩く楽しさを感じられる計画とします。